



8月4日は麻しん（はしか）予防の日

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

◆**症状**◆ 感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人程度の割合で脳炎が発症します。死亡する割合も、先進国であっても1,000人に1人と言われています。

◆**予防方法**◆ 麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻しん含有ワクチンが最も有効な予防法といえます。

海外から帰国された方は、麻しん発症の可能性を考慮し、帰国後2週間程度は高熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状に注意しましょう。

- 発熱、発しんなどの麻しんのような症状がある場合は、麻しんの疑いがあることをかかりつけ医または医療機関に電話等で伝え、受診の要否や注意点を確認してから、その指示に従ってください。
- また、麻しんの感染力は非常に強いと言われています。医療機関へ移動される際は、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

定点 種別	疾患名	状況	29週(7/14～7/20)		30週(7/21～7/27)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	—	1	0.04	2	0.08
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		109	4.54	183	7.63
	急性呼吸器感染症(ARI)		1427	59.46	1355	56.46
小児科	RSウイルス感染症		0	0.00	3	0.20
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	2	0.13	3	0.20
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	12	0.80	13	0.87
	感染性胃腸炎	—	65	4.33	49	3.27
	水痘(みずぼうそう)	—	5	0.33	3	0.20
	手足口病	—	4	0.27	4	0.27
	伝染性紅斑(りんご病)	○	17	1.13	29	1.93
	突発性発しん		16	1.07	12	0.80
	ヘルパンギーナ	—	73	4.87	43	2.87
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	3	0.20	1	0.07
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	11	2.20	13	2.60
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		18	3.60	20	4.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし